

再評価項目調書

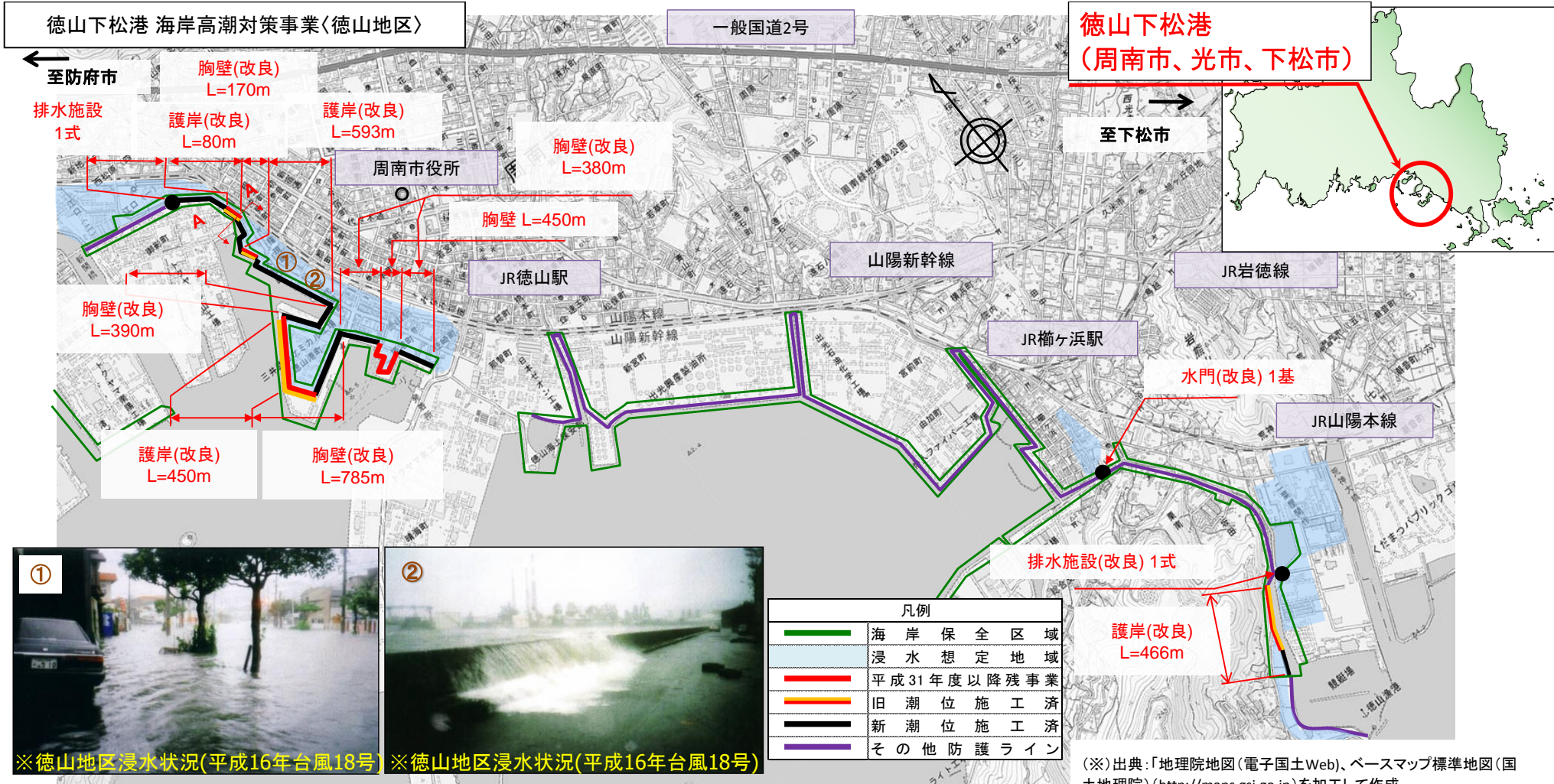
再評価実施要件		○ 事業採択後 ( ) 年 ● 再評価後 ( 5 年 ) ○ その他 ( )				
1 事業 概要	事業名	徳山下松港 徳山地区 大島・粕島地区 光地区 下松地区 笠戸島地区 海岸高潮対策事業				
	事業場所	周南市入船町～粕島 光市虹ヶ浜～光井 下松市東豊井～笠戸島				
	事業主体	山口県				
	事業期間	《 前回評価 平成 25 年 時 》 昭和 61 年度 ～ 平成 39 年度 《 平成 34 年度 》 ( 西暦 1986 年度 ～ 西暦 2027 年度 《 西暦 2022 年度 》 )				
	総事業費 (内用地補償費)	《 16,442 百万円 》 16,442 百万円 ( - 百万円 )	既投資額 (内用地補償費)	14,699 百万円 ( - 百万円 )	進捗率 (用地補償費)	89 % ( - % )
	事業目的	<p>徳山下松港は、瀬戸内海西部に位置し、周南コンビナートを形成している周南市、下松市及び光市にまたがる国際拠点港湾<sup>*1</sup>である。護岸背後には、フェリーターミナル、国道、県道、市道、鉄道、病院等があり、これらは、経済活動や日常生活を行う上で欠かすことができない重要な施設となっている。</p> <p>当港の海岸保全施設は、昭和30年から50年代に整備されたものが多く、施設の老朽化が著しい。また、当地区の護岸は高さが不足しており、背後地の地盤高も低いことから、台風時には民家、道路等が高潮や越波による浸水被害に見まわれている。このため、一連の防護ラインを構築することにより、浸水被害を軽減し、背後地の生命、財産を防護する。</p>				
事業内容	<p>○徳山地区 : 胸壁(改良)L=1,725m, 護岸(改良)L=1,589m 排水施設(改良)1式, 排水施設1式, 水門(改良)1基, 胸壁L=450m</p> <p>○大島・粕島地区 : 離岸堤L=861m, 護岸(改良)L=750m, 護岸(消波)L=1,162m</p> <p>○光地区 : 堤防L=400m, 樋門3基, 胸壁L=1,475m, 護岸(改良)L=749m, 胸壁(改良)L=581m</p> <p>○下松地区 : 護岸(改良)L=420m, 離岸堤(改良)L=420m</p> <p>○笠戸島地区 : 護岸(改良)L=3,110m, 護岸(消波)L=897m, 突堤1基, 護岸(補強)L=145m, 胸壁(改良)L=250m</p> <p>設計高潮位 : 徳山地区、大島・粕島地区 +5.76m 光地区 +5.45m 下松地区、笠戸島地区 +5.76m</p>					
事業効果	<p>平成11年9月に発生した台風18号相当の高潮時において家屋浸水被害が軽減される。</p> <p>浸水戸数 1,765 戸 → 0 戸 浸水面積 310.9 ha → 0 ha 被害額(家屋等) 602,933 百万円 → 0 百万円</p>					
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>浸水区域に関する指標について、前回評価時から人口はから減少傾向であるものの、世帯数は同水準であり、整備する護岸背後には産業施設の増加も見込まれることから、背後地の防護のために高潮対策の必要性は依然として高い。</p> <p>【浸水区域に関する指標の変化(国勢調査)】 (周南市、下松市、光市) ○人口: 0.86倍 (222,023/257,503人) &lt;H27/H22&gt; ○世帯数: 1.01倍 (106,709/105,407世帯) &lt;H27/H22&gt; (県全体) ○人口: 0.97倍 (1,405/1,451千人) &lt;H27/H22&gt; ○世帯数: 1.00倍 (597/596千世帯) &lt;H27/H22&gt;</p>		中項目評価	大項目評価	
	関係市町及び地元の意向	<p>地元自治会では、自主防災組織を設立するなど、高潮に対する防災意識・関心度は高く、高潮対策事業の推進に協力的であり、地元要望は非常に強い。</p>		中項目評価	A ・ B ・ C	

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	(単位：百万円)				大項目 評価  A ・ B ・ C		
			区分	主な項目	前回 (基準年：H25)	今回(再々評価) (基準年：H30)		備考	
					全体事業	全体事業			残事業
			利益 (B)	①一般資産被害額便益	220,076	213,051		183,036	
②公共土木被害額便益	396,137	383,491		329,466					
③公共事業等被害額便益	6,602	6,392		5,491					
	総便益	622,815	602,933	517,993					
費用 (C)	①事業費	26,650	31,710	14,37					
	②維持管理費	1,507	1,556	1,215					
	総費用	28,157	33,266	2,652					
	費用便益比 (B/C)	22.1	18.1	195.3					
※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額 <b>【費用対効果分析手法】</b> 根拠マニュアルは「海岸事業の費用分析指針(改訂版)H16、6/国土交通省・農林水産省」とする。基準年は平成30年とする。 <b>【費用対効果分析における特記事項】</b> ・一般資産等被害削減便益：防護地域内に存在する一般資産(家屋、家財、事務所、農作物、農漁家に対する被害削減額) ・公共土木施設被害削減便益：防護地域内に存在する公共土木施設(橋、道路、公園等)に対する被害削減額 ・公共事業等被害削減便益：防護地域内に存在する公共事業等(電気、ガス、水道等)に対する被害削減額									
2 再評価の視点	(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	平成30年度までに以下の施設整備が完了し、高潮に対する防護機能が向上している。 ○徳山地区：胸壁(改良)L=1390m, 護岸(改良)L=675m, 排水施設(改良)1式, 排水施設1式, 水門(改良)1基 ○大島・粕島地区：離岸堤L=661m, 護岸(改良)L=750m, 護岸(消波)L=835m ○光地区：堤防L=365m, 樋門3基, 胸壁L=1315m, 護岸(改良)L=749m ○下松地区：護岸(改良)L=420m, 離岸堤(改良)L=420m ○笠戸島地区：護岸(改良)L=1,360m, 護岸(消波)L=897m, 突堤1基, 護岸(補強)L=145m 残工事において、事業進捗における阻害要因はなく、今後計画的な進捗が見込まれることから、引き続き、施設改良等を行い、浸水被害の軽減に努める。				大項目 評価  A ・ B ・ C		
			<b>【事業費の変化】</b> 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> <b>【事業期間の変化】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無						
2 再評価の視点	(4) 代替案等の可能性	コスト縮減	既設護岸及び胸壁を有効活用することでコスト縮減を図った。				中項目 評価 a・b	大項目 評価 A	
		代替案	既設護岸を有効活用する当計画が最も経済的に優れ、かつ、背後環境への影響が最も少ない。				中項目 評価 a・b	大項目 評価 B ・ C	
3 環境		配慮事項	・光地区の虹ヶ浜海岸は、瀬戸内海国立公園内に位置し、白砂青松の景観を有する県内を代表する海岸であるため、擬木胸壁の使用や自生植物を保護するなど、景観・環境に配慮した海岸整備を進めている。 ・海上作業時において、汚濁防止膜 <sup>※2</sup> を設置し濁水の拡散防止を図る。						
4 対応方針	(事業実施主体)	総合評価	● 継続                      ○ 見直し継続                      ○ 中止						
		評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。						
		備考							

【用語説明】

※1 国際拠点港湾：国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾。

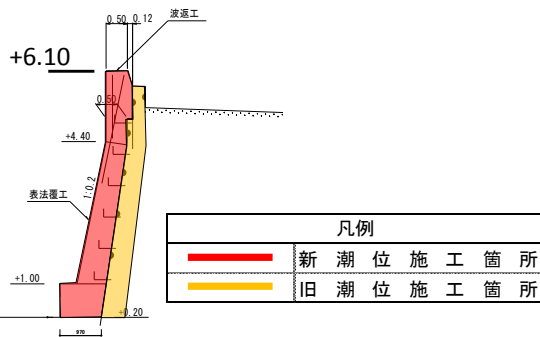
※2 汚濁防止膜：河川や海での工事を行う際に、工事で発生した濁水が流出することを防ぐために設置する施設。

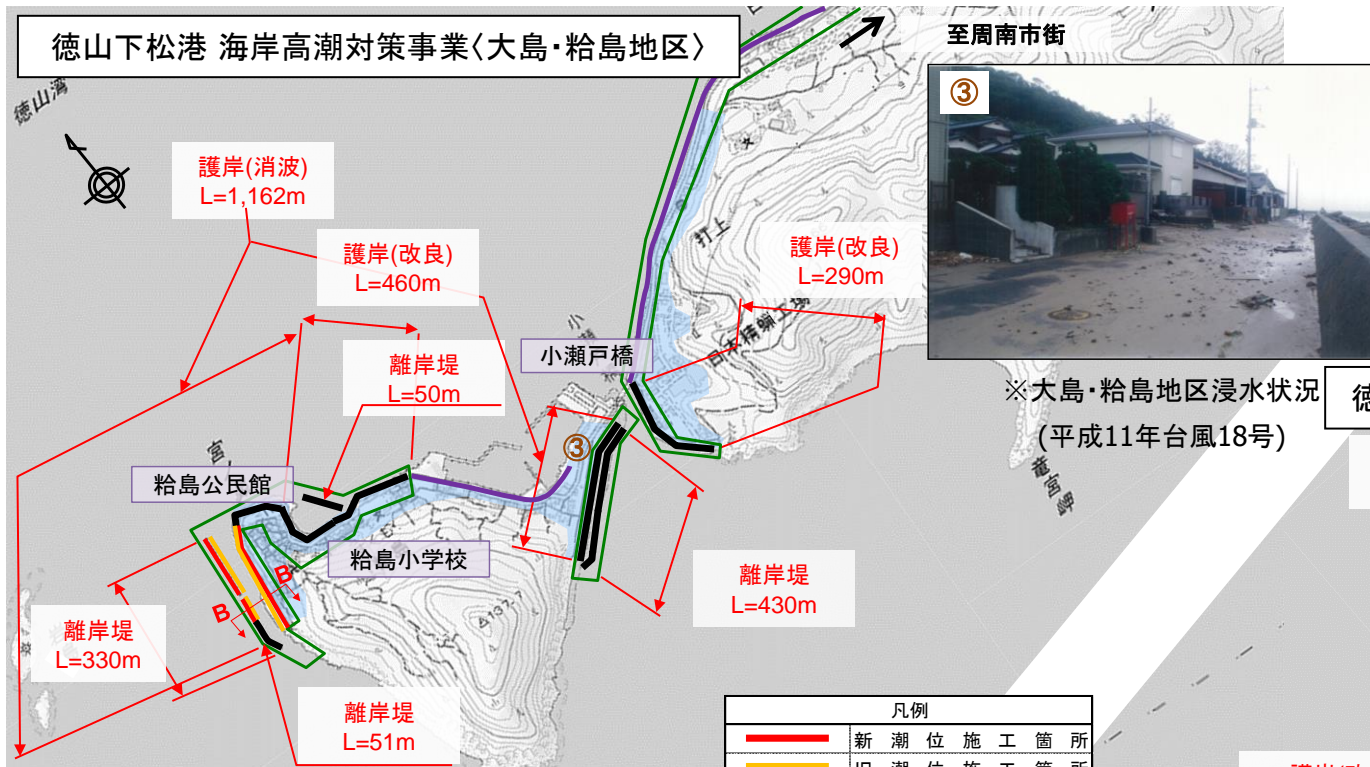


A-A断面 護岸(改良)

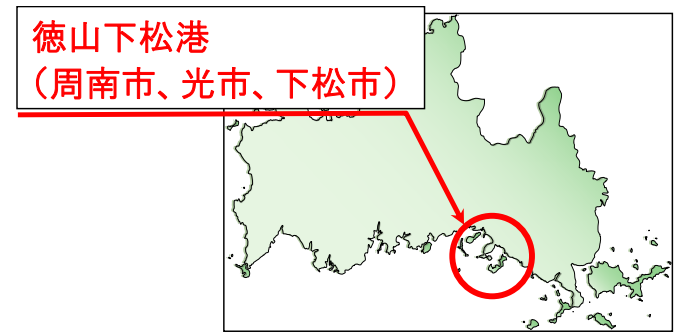
▽H.H.W.L: +5.76

▽H.W.L: +3.35

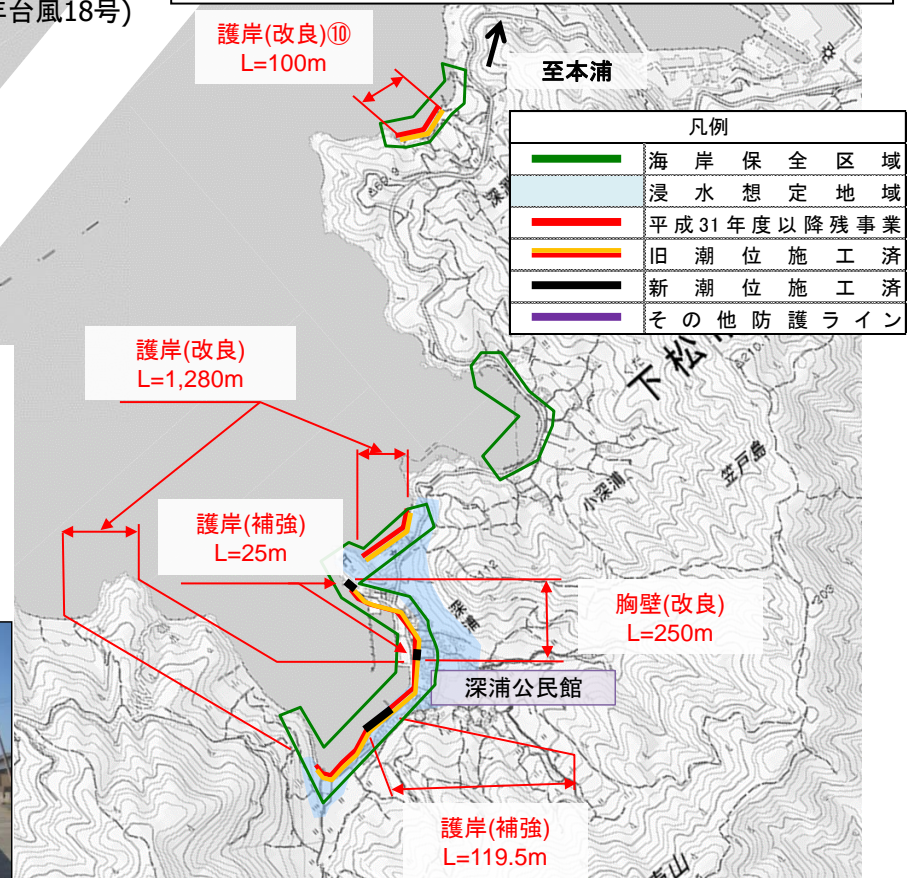




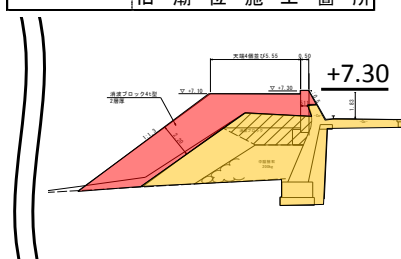
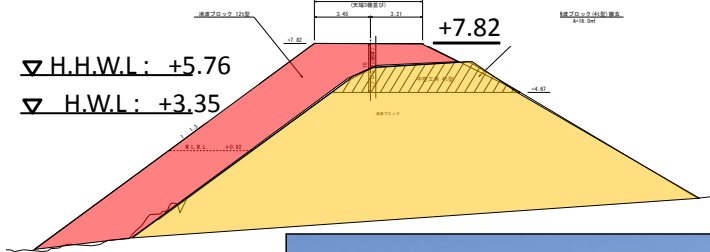
※大島・杵島地区浸水状況  
(平成11年台風18号)



### 徳山下松港 海岸高潮対策事業<笠戸島(南)地区>



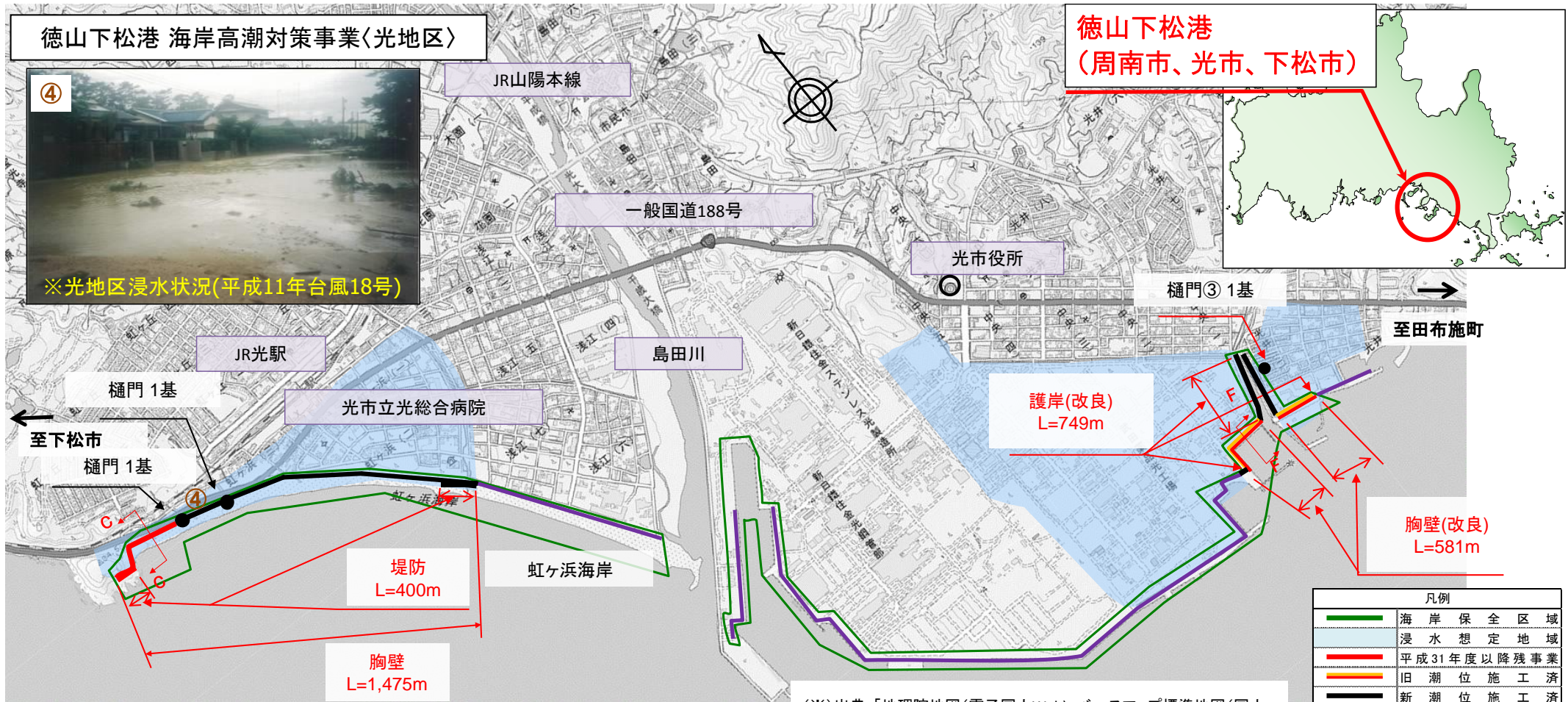
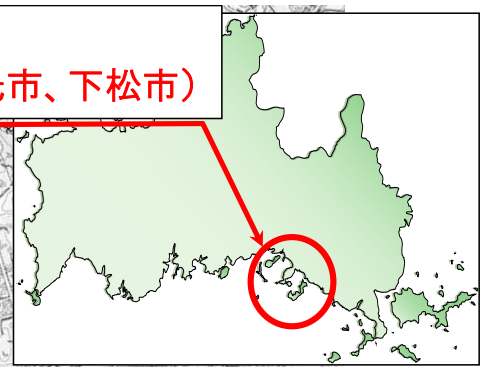
B-B断面 離岸堤



(※) 出典: 「地理院地図(電子国土Web)、ベースマップ標準地図(国土地理院)

徳山下松港 海岸高潮対策事業<光地区>

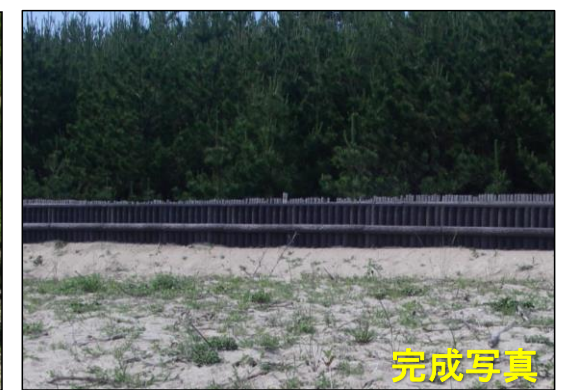
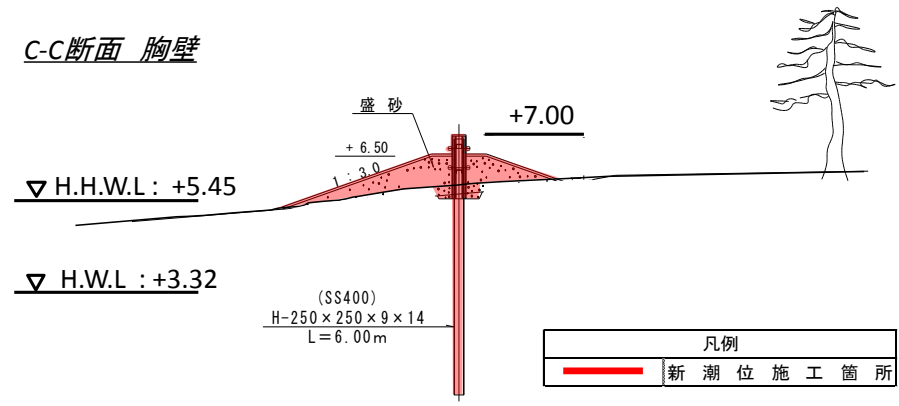
徳山下松港  
(周南市、光市、下松市)



凡例	
<span style="color: green;">—</span>	海岸保全区域
<span style="color: blue;">—</span>	浸水想定地域
<span style="color: red;">—</span>	平成31年度以降残事業
<span style="color: orange;">—</span>	旧潮位施工済
<span style="color: black;">—</span>	新潮位施工済
<span style="color: purple;">—</span>	その他防護ライン

(※)出典:「地理院地図(電子国土Web)、ベースマップ標準地図(国土地理院)(<http://maps.gsi.go.jp>)を加工して作成

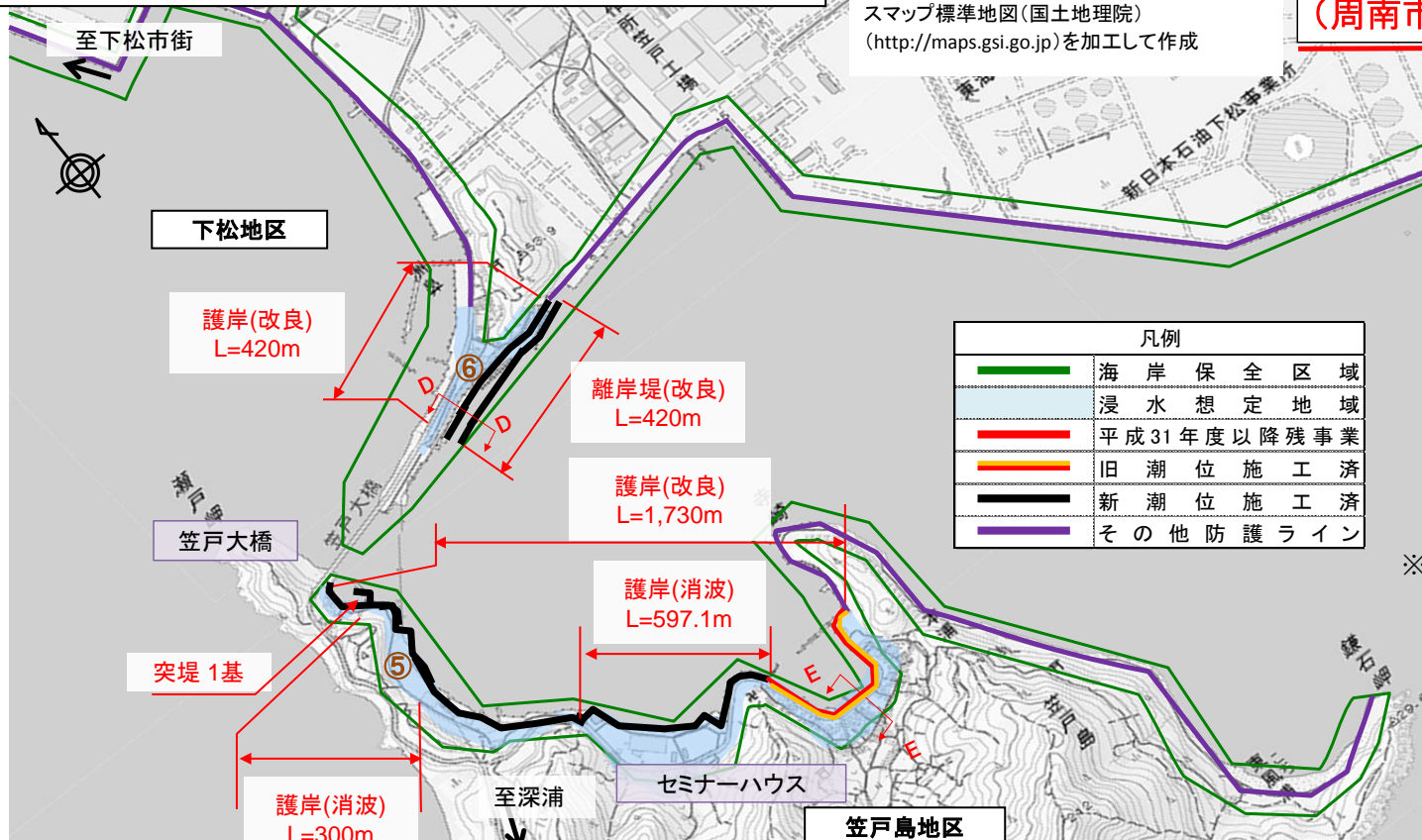
C-C断面 胸壁



徳山下松港 海岸高潮対策事業<下松地区, 笠戸島(北)地区>

(※) 出典: 「地理院地図(電子国土Web)、ベスマップ標準地図(国土地理院) (<http://maps.gsi.go.jp>) を加工して作成

徳山下松港  
(周南市、光市、下松市)



※笠戸島地区浸水状況(平成11年台風18号)



※下松地区浸水状況(平成16年台風18号)

